

プロジェクト課題活動実績

課題名：阿武・萩地域沿岸部における農地保全に向けたしくみづくり

萩農林水産事務所農業部 チーム員：○藤山昌三、増富義治、藤村壽祐、兼子昌明

<活動事例の要旨>

萩市大井地区、阿武町奈古・宇田郷地区は、農地が谷合に分散しており、畦畔の高いほ場も多いなど厳しい営農条件下にある。未整備田の占める割合も高く、耕作放棄地の発生が問題となりつつある。

一方で、新規就農者の誕生や令和4年度着手を目途としたほ場整備事業計画と、これに併せて集落営農法人の設立が予定されるなど、地域農業を支える動きが出てきている。

本プロジェクトでは、こうした地域の動きを基盤とし、農地保全に向けた仕組みづくりに取り組んだ。

労力負担の大きい畦畔管理については、奈古・宇田郷地区の6組織が「芝※種子吹付工法」の実証ほを設置し、管理労力の省力化に取り組んでいる。※センチピートグラス

奈古地区では、ほ場整備後の営農を担う法人について、地元生産者や関係機関と協議し、土地利用型作物生産法人とキウイフルーツ生産法人を設立することに決定するとともに、各法人の事業計画について関係生産者等と検討を進めた。

大井地区では、水稻種子生産において品質向上や需要に応じた出荷体制の見直しを支援した。また、JA生産部会や地域内の担い手を対象に、将来の営農意向等の情報収集を行った。

1 普及活動の課題・目標

(1) 阿武町

ほ場整備事業を契機に、営農の核となる農業法人を新たに育成するとともに、周辺の農業法人や任意集落組織との連携を強化し、農地保全の取り組みを進める。また、農業法人等と連携して新規就農・就業者の確保を図る。

キウイフルーツ生産団地構想を具現化し、産地の再編を図るとともに、担い手となる人材を計画的に確保する。

(2) 萩市大井

50年以上の歴史を持つ水稻種子産地は、現在の生産規模を堅持する。また、地域特産品目を核とした受入体制を整備し、新規就農者等担い手の確保を目指すとともに大井地区農業の方向性を検討する。

2 普及活動の内容

(1) 阿武町

ア 農地保全に向けた畦畔管理技術

センチピートグラス吹付実証に奈古地区4組織、宇田郷地区2組織が取組んだ。

イ 新規就農・就業者の確保

新規就農者の営農計画等について協議し、今後の方向性について検討した。

ウ ほ場整備事業

地元生産者や関係機関で、ほ場整備後の営農を担う法人について協議を行い、生産者の要望や事業要件に適合する法人の姿の整理や決定に向け働きかけた。

土壌断面調査を実施し、結果に基づくほ場整備の施工法について検討を行った。

エ 営農の法人化

2つの法人設立に向け、関係生産者や関係機関により、各法人の事業計画について検討を行った。

オ キウフルーツ生産団地

生産部会役員会等で、ほ場整備や団地化（営農開始）に必要な装備（果樹棚、苗木、機械施設等）を整理した。

(2) 萩市大井

ア 水稻種子産地

高品質な種子生産に向け、講習会や現地指導で基本技術の徹底を図った。

契約数量に基づく出荷を行うことで、返送量を減らし、コスト低減を図るよう出荷体制の見直しを支援した。

イ J A生産部会の情報収集

大井地区の農業の方向性検討に向けてJ A生産部会に係る情報収集を行った。

J A柑橘生産部会大井支部では、将来の営農意向等に係るアンケートを実施した。

3 普及活動の成果

(1) 阿武町

6組織が畦畔管理技術の実証に継続して取組んだ。次年度は、このうち2組織が施工面積を増やすとともに、新たに1組織が実証に取組む計画である。

宇田郷地区の2名が、新規就農者として登録された。

ほ場整備後の営農を担う法人について、土地利用型作物生産法人とキウイフルーツ生産法人を設立することに決定するとともに、営農の一体性を確保するため、集落営農法人連合体を形成することとなった。

(2) 萩市大井

水稻種子について、ひとめぼれは昨年並の品質を維持、ヒノヒカリは合格率が低下したものの、精選歩合は向上した。

水稻種子の出荷については、契約数量分を出荷することで部会の合意を得た。

タマネギの運搬作業（圃場から貯蔵庫）に係る受託作業の実態が明らかとなった。

柑橘の営農意向に係るアンケート結果から、高齢化の進展（5年後に70歳以上84%）する中、後継者不在の生産者が多く、園地流動化の必要性が明らかとなった。



【センチピートガラスの吹き付け】



【奈古地区ほ場整備予定地土壌断面調査】



【大井地区の水稻種子生産指導】

4 今後の普及活動に向けて

(1) 阿武町

- ア ほ場整備後の営農を担う法人経営体育成支援
事業公告（令和3年11月頃）前までに、土地利用型作物生産法人およびキウイフルーツ生産法人設立に向け、営農計画の作成や合意形成等に係る支援を行う。
- イ キウイフルーツ生産団地整備構想の支援
生産団地に係る施設整備に加え、出荷販売に係る施設整備検討に係る支援を行う。

(2) 萩市大井

- ア 水稻種子産地
確実な種子生産管理の実践に向けた支援を行い、特に、契約数量が増加したヒノヒカリの精選歩合向上を図る。
- イ 地域農業を支える仕組みづくりの構築
農地流動化に係る生産者の意向を把握し、関係機関と共有しながら、農地相談窓口設置に向けた支援を行う。